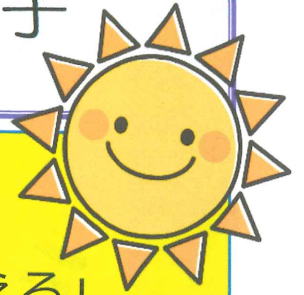


強い子 やさしい子 明るい子

1月 小柳津 由紀

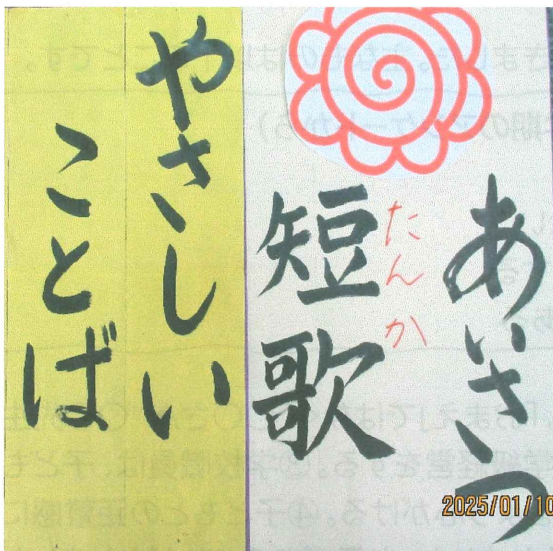


3学期の目標は

「言葉を選んで使う」「命を守る」「思いを伝える」

職員は「子どもの声をよく聴く」が目標

「言葉を選んで使う」

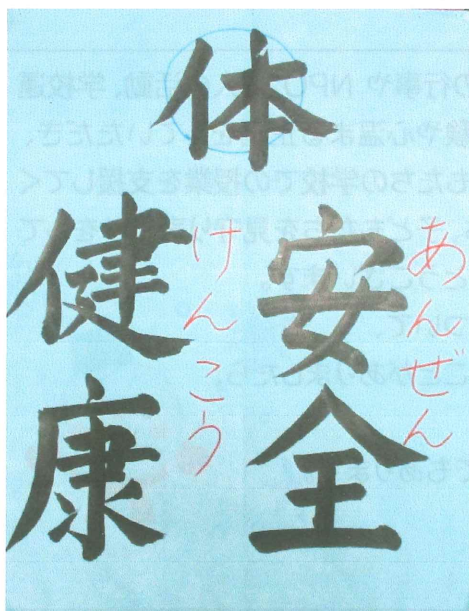


吉田小学校の子どもたちは、「言葉を選んで使う力」に優れています。それは、長年取り組んできている短歌学習の成果でもあると思います。

3 学期初日多くの子どもたちが「おはようございます。今年もよろしくお願ひします。」とか「ことよろ～」と挨拶をしてくれました。その時々状況に合った言葉を選んで使う子どもたちの姿に感心しました。その力を大事にし、3 学期は 2 学期以上に「優しい言葉を選んで使うこと」を職員も子どもたちもめざしていきます。



「自分の命を守る」

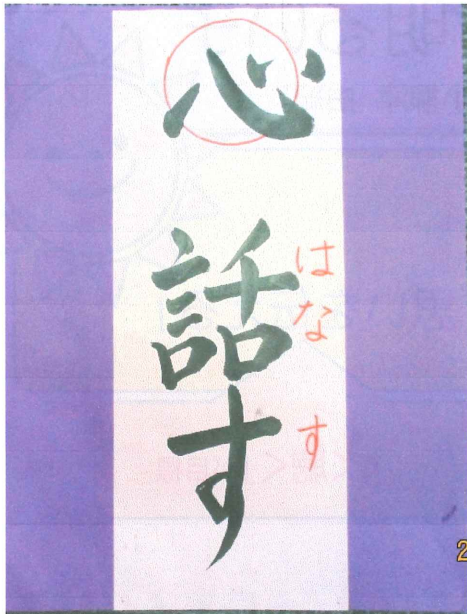


3 学期は路面の凍結や積雪により子どもたちの周りに危険が増えたり、感染症が拡がったりする時で、病気や事故の心配が尽きない季節になります。学校では、自分の身体や命を守ることの指導を大事にしていきます。職員とも「徹底して子どもたちの命を守ること」を確認しています。

放課後や休日の子どもの安全については、ご家庭にお願いするしかありません。交通ルールや感染予防対策等、お子さんと再度ご確認ください。

登下校時の安全対策については、見守りのボランティアの方々にはたくさんお力をお借りしていますが、学校と家庭の両方が責任をもち、耳にたこができるくらい声がけをし、大事な子どもの命を守りましょう。

## 「自分の思いを伝える」



今年度は、お子さんが「学校に行きたくない」「教室に入るのがいや」と訴えている姿をたくさん見てきています。校長としては、本当に切なく申し訳ない思いでいっぱいです。子どもたちはまだ幼いので、自分のもやもやした気持ちを表現する言葉を持ち合わせておらず、泣いたり癩癩を起こしたりすることで精一杯の自分の気持ちを表現するので、おうちの方々もご苦労されていることと思います。

学校では、自分の言葉で自分の気持ちや考えを話すことの積み重ねを大事にしていきます。

職員は「子どもの声を聴く」姿勢を大事に、子どもたちと向かい合い、子どもたちの思いや考えが大事にされる教育活動を行っていきます。

2 学期には、アンケートを通じ、様々なご意見をいただきました。主なものは以下のことです。

### 子どもたちや保護者がいやだと思っていること(2学期のアンケートから)

- ・ 人のことを「おまえ」と呼ぶ友達や先生がいる
- ・ 教室がうるさくて自分の思いを聴いてもらえない
- ・ 先生が大声で怒鳴ったり、汚い言葉を使ったりする
- ・ 先生が子どもを膝にのせるなどの身体接触がある

3 学期は、ご意見をもとに、①人の名前は大事にする。「おまえ」ではなく、〇〇さん 〇〇先生と呼ぶ。②まず職員が「聴く」ことを大事にした授業や学級経営をする。③学校職員は、子どもにとって環境なので、いつでもすがすがしい環境であるよう心がける。④子どもとの距離感に気をつける。の4点を職員全員で確認し合ってスタートしました。お気づきのことがありましたら、小柳津までご連絡ください。

みんなで、気持ちのよい楽しい吉田小学校を作っていきたいです。

地域の皆様には、日頃より大変お世話になっております。地域の行事や NPO 法人の活動、学校運営協議会の活動等の中で、小学校の子どもたちにたくさんの体験や心温まる企画をしていただき、子どもたちが笑顔で活動する姿にいつも感謝しております。子どもたちの学校での授業を支援して下さる皆様、雨の日も風の日も雪の日も朝早くから通学路に立ち、子どもたちを見守り声がけをして下さるボランティアの皆様にも、本当に感謝しています。ありがとうございます。

2 学期には、子どもたちの登下校の仕方や下校後の過ごし方について、課題等をお知らせいただきありがたかったです。今後も気になることがありましたら、子ども達にしっかりとご指導いただけるとありがたいです。

地域の中で、地域の方々とともに育つ子どもは、私のめざす姿でもあります。今後とも、ご協力のほど、宜しく願いいたします。

3 学期も宜しく願いいたします。

